

令和 6 年度主要な事業の実施状況報告

1 法人運営事業

1. 理事会、評議員会、監事監査の開催状況

期 日	場 所	内 容
5 月 2 0 日	社会福祉協議会事務局 相談室	令和 5 年度監事監査
5 月 3 0 日	文化会館フォルテ ミーティングルーム	第 1 回理事会 議案 1 1 件： 専決事項報告（一般会計第 2 次補正予算の承認） 定款の一部改正 諸規程等の一部改正 事業報告 一般会計決算の承認 福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の補充選任の承認 役員補充候補者の承認 定時評議員会の招集の決定 評議員補充候補者の推薦 評議員選任・解任委員の選任 評議員選任・解任委員の招集の決定
	※決議の省略 (書面による同意)	第 1 回評議員選任・解任委員会 議案 1 件： 評議員の選任
6 月 1 4 日	文化会館フォルテ ミーティングルーム	第 1 回定時評議員会 議案 5 件： 専決事項報告（一般会計第 2 次補正予算の承認） 定款の一部改正 事業報告 一般会計決算の承認 役員の補充選任
7 月 1 日	※決議の省略 (書面による同意)	第 2 回理事会 議案 1 件： 常務理事の選定

3月14日	学びの杜ののいち カレード 研修室・会議室	第3回理事会 議案11件： 専決事項報告（一般会計第1次補正予算の承認） （給与規程の一部改正） 一般会計第2次補正予算の承認 定款の一部改正 諸規程等の一部改正 事業計画 一般会計予算 福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の選任の承認 役員補充候補者の承認 評議員会の招集の決定 評議員補充候補者の推薦 評議員選任・解任委員会の招集の決定
3月24日	学びの杜ののいち カレード 研修室・会議室	※決議の省略 （書面による同意） 第2回評議員選任・解任委員会 議案1件： 評議員の補充選任
		第2回評議員会 議案6件： 専決事項報告（一般会計第1次補正予算の承認） 一般会計第2次補正予算の承認 定款の一部改正 事業計画 一般会計予算 役員の補充選任 第4回理事会 議案1件： 副会長の選定

2. 会員の加入状況

区 分	会 員 数	金 額
	件	円
普通会員（年間 300円以上）	8,891	5,150,050
特別会員（年間3,000円以上）	337	1,339,400
合 計	9,228	6,489,450

3. 野々市市社会福祉法人連絡会

(1) 総会

期 日	協力団体	内 容
7 月 1 日	市内社会福祉法人 20 法人	来賓の臨席の元、市内全ての法人代表者が参加し、総会を開催した。事業報告・決算、事業計画・予算の承認を得た。 また、法人が行う地域公益事業の状況を共有した。

(2) 運営委員会

期 日	協力団体	内 容
6 月 5 日 9 月 4 日 11 月 27 日 1 月 30 日	市内社会福祉法人 21 法人	総会での議案内容を検討するとともに、互いの地域公益事業を共有し、貸出ガイドマップの周知、災害時の法人連携について検討した。また、地域公益活動ができるよう事務局として支援を行った。

(3) 市内社会福祉法人の地域公益活動事業への支援

主催法人	内 容
野々市市社会福祉協議会	・フードパントリー協力 ・一人暮らし高齢者のつどい（協力法人 堀内福祉会、和光会）

(4) 法人間の連携事業

市内6法人がポッチャ交流会やオンライン交流会、施設への訪問等の地域公益活動を事務局として支援した。

4. ののいち災害ボランティアネットワーク

平時からの分野を超えた幅広い交流をすることで、災害時の災害ボランティアセンター等を拠点とした活動に対する個人ボランティア・ボランティア等関係団体間、及び行政との連携の充実を図る。

期 日	場 所	内 容
4 月 19 日	野々市市役所 101 会議室 17 人	運営委員会 能登半島地震被災地避難者支援への取組状況を共有した。 令和5年度事業報告・決算 令和6年度事業計画・予算
11 月 9 日	老人福祉センター 椿荘 13 人	災害ボランティア入門講座 白山・野々市災害ボランティア会 木村繁氏による入門講座を開催。基礎知識について理解を深めた。 災害ボランティアセンター運営訓練 社会福祉協議会職員と合同で訓練を実施した。班毎の役割説明や、ロールプレイを行うなど具体的な訓練を行った。

5. 災害ボランティアセンター運営職員派遣

派遣職員数	災 害	派遣日数	内 容
45人 (重複あり)	能登半島地震・ 奥能登豪雨	珠洲市：延べ131日 穴水町：延べ9日 七尾市：延べ5日	4月3日～1月26日：計36回 4月6日～4月24日：計 5回 4月6日～4月14日：計 5回

6. 避難者応援家電バンク・フードパントリー

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、避難者の生活再建の一助となるよう、2月1日より市民からの寄付や寄付金で購入した家電製品、食料品を市内で生活を始める避難者に提供した。

(1) 家電バンクへの寄付金

件 数	寄 付 金 額 等
1 件	円 472,565

(2) 家電バンク 令和6年4月1日～6月24日 実施分

寄付件数	寄付者数	利用件数	場 所	内 容
件 延べ206	人 32	件 延べ192	J Aののいち 本町支店横 建屋	市民からの寄付や寄付金 で購入した家電製品を、市 内で生活を始める避難者に 提供した。

(3) フードパントリー 令和6年4月1日～6月24日 実施分

利用件数	場 所	内 容
件 延べ759	J Aののいち 本町支店横 建屋	市民から寄付いただいた食料を、市内で生活する避難者に 提供した。

2 地域福祉活動の推進

1. ひとり暮らし高齢者生きがい交流事業

期 日	場 所	内 容	参加人数
3月10日 3月21日	老人福祉センター椿荘 カミーノ	ひとり暮らし高齢者の外出機会の創出、地域との交流を目的として開催した。民生委員 児童委員やボランティアグループ、市内社会 福祉法人等にも協力いただき、地域との多様 なつながりづくりを行った。	32人 43人

2. フードドライブ・フードパントリー

期 日	対象者	内 容
8 月 9 日	ひとり親	市民より食品の寄付を募り、市内ひとり親家庭の方々を対象に無料配布会を開催した。（協力団体：野々市生活学校など） 配布世帯：91世帯

3 ふれあい活動の推進

1. ふくしフェス2024

期 日	場 所	内 容	参加人数
10月19日	市役所 あらみや公園	社会福祉功労者表彰および基調講演、ふれあいコーナーを同日開催する予定であったが、荒天のため屋外中心で実施するふれあいコーナーは中止とした。 講演では「地域が支える・地域で支える～災害時のたすけあいについて～」と題し、にいがた災害ボランティアネットワーク李仁鉄氏に講演いただいた。	人 104

2. ふれあいひなまつり会（児童館と共催）

期 日	場 所	内 容	参加人数
3月3日	老人福祉センター 椿荘	高齢者と未就園児親子がひな人形を見学し、高齢者から子ども達に「ひなあられ」を手渡し交流を深めた。	人 35

3. 障害者スポーツ交流大会

期 日	場 所	内 容	参加人数
9月22日	スポーツセンター	障害者の社会参加を図るとともに、健常者とのふれあい、関連ボランティア団体との交流を深めることを目的にボッチャ等の実施を予定していた。	中止

4. ふれあい事業

(1) 暑中見舞いハガキづくり

期 日	場 所	内 容	対象人数
7 月	(協力) つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにじいろクラブ カメラアクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光 コスモキッズたちの	市内のひとり暮らし高齢者等に、放課後児童クラブの児童が書いた暑中見舞いのハガキを送った。	人 5 4 6

(2) 年賀状づくり

期 日	場 所	内 容	対象人数
1 2 月	(協力) 野々市中学校 布水中学校 つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにじいろクラブ カメラアクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光 コスモキッズたちの	市内のひとり暮らし高齢者等に、明るいお正月を迎えていただこうと、放課後児童クラブの児童や市内中学校の生徒がイラストやメッセージを添えた年賀状を送った。	人 5 3 4

4 総合相談事業

1. 心配ごと相談

内 容	場 所	相談日数	相談件数
法律相談 偶数月第4木曜日 (12月のみ第1木曜日) 相談員(金沢弁護士会)	社会福祉協議会 (福祉総務課分室)	6 日	23 件
一般相談 毎週木曜日 社協職員		43 日	8 件

2. 福祉サービスに関する苦情解決

福祉サービスの利用者からの苦情に対して、利用者の権利を擁護する観点から、苦情を密室化せず、社会性、客観性を確保した適切な解決を図るため、3名の委員を配置している。

3. 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

新規相談 件数	プラン作成 申込件数	内 容
161 件	51 件	生活困窮者が抱える複合的な課題に早期かつ包括的に対応する相談窓口を設置し、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた支援を計画的に行った。 就労準備支援事業(相談、プラン共に1件)、家計改善支援事業(相談、プラン共に5件)含む。

4. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

相談延件数	決定人数	決定件数	内 容
126 件	10 人	11 件	低所得世帯、障害者世帯、および高齢者世帯に対し、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようになることを目的とした制度であり、生活資金の融資あっせんを行った。令和6年能登半島地震に伴う災害特例資金相談対応(緊急小口資金:相談14件、申請5件、住宅補修費:相談1件、申請0件)含む。 令和2年3月23日に受付を開始したコロナ特例資金の借受人に対し、個別の状況に応じて借り入れ後の生活再建に向けた支援を継続的に実施した。地域住民の集まる場に出向き、生活困窮者を含めた地域生活課題の把握を行った。

5. 福祉サービス利用支援事業

相談件数	契約件数	解約件数	利用者数	生活支援員数	内 容
件 18	件 3	件 4	人 12	人 10	判断能力の低下した高齢者や障害者が、地域で安心して日常生活を営むことができるよう、福祉サービスの利用や金銭管理、書類の預かり等の支援を計画的に行った。

5 広報、啓発活動の推進

1. 野々市市社会福祉功労者表彰贈呈式

期 日	場 所	内 容	参加人数
10月19日	野々市市役所 2階ホール椿	地域福祉に功労のあった者及び社会福祉施設・事業所における永年勤続者に対して、本会が感謝の意を表し、その功を称えることにより地域福祉の推進及び社会福祉サービスの向上に資することを目的とする。 社会福祉功労者表彰：19人	人 約52

2. 「ののいち社会福祉」発行

発 行 日	発 行 回 数	配 布 先
6月1日 12月1日 3月1日	年3回	25,150 世帯 24,950 25,100 (全戸配布)

6 ボランティア活動への援助

1. ボランティア連絡協議会

加盟団体数	参加人数	内 容 等
団体 7	人 8 6 19 5 31	5月15日 総会 5月22日 役員会 7月 2日 第1回ボランティア cafe 10月22日 役員会 11月26日 第2回ボランティア cafe

団 体 名	会 員 数	事 業 費
	人	千円
民生委員児童委員協議会	99	745
老人クラブ連合会	810	
遺族連合会	113	(民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会は
身体障害者福祉協議会	48	市より補助 4団体)
母子会	47	
手をつなぐ育成会	41	

2. 福祉協力校及び協力園

団 体 機 関 名 等
高等学校1校、中学校2校、小学校5校、保育園・認定こども園14園（辞退3園）
・ 県立野々市明倫高等学校 ・ 市立野々市中学校、市立布水中学校 ・ 市立野々市小学校、市立御園小学校、市立富陽小学校、市立館野小学校、市立菅原小学校 ・ 市立富奥保育園、市立押野保育園、市立御経塚保育園、市立中央保育園 幼保連携型認定こども園はくさん保育園、幼保連携型認定こども園和光、 幼保連携型認定こども園エンジェル保育園、法人ふじひら保育園、ほりうちこども園、 幼保連携型認定こども園つばきこども園、認定こども園アリスこども園、 幼保連携型認定こども園あわだこども園、認定こども園ほのみこども園、 認定こども園なごみこども園

3. 障害者理解促進研修・啓発事業

(1) 福祉体験事業

期 日	場 所	内 容	参 加 者
6月14日	御園小学校	当事者による日常生活の講話、車いすバスケット体験、福祉疑似体験、ゆるスポーツ体験などを総合の授業で「福祉」の一環として行った。	児童 延べ1,282人
6月25日	野々市小学校		
6月27日	野々市小学校		
7月1日	富陽小学校		
9月17日	館野小学校		
10月22日	富陽小学校		
10月25日	館野小学校		
10月28日	野々市小学校		
10月30日	菅原小学校		
11月15日	館野小学校		
11月20日	菅原小学校		
11月25日	富陽小学校		

(2) 野々市市理解促進・啓発のための障害者施設等製品物産展及び活動紹介パネル展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
12月13日	イオンモール 白山	障害福祉サービス事業の活動を知る機会や利用者自らが関わった製品を販売する機会を確保し、障害への理解や障害のある方の地域生活の支援等を目的に販売会とパネル展示会を行った。	9事業所 来場者 110人

(3) 野々市市障害者理解促進・啓発のための障害者作品展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
6月28日 ～7月7日	学びの杜 のいちカレード	障害への理解や障害のある方々の 文化・芸術活動の振興、社会参加の促 進を目的に作品展を行った。 市美術展と合同の開催。	9事業所 53人 41作品

8 援助活動の推進

1. 共同募金事業

(1) 募金実績

募 金 名	件 数	金 額
	件	円
赤い羽根共同募金	643	722,159
歳末たすけあい募金	7,760	7,648,485

(2) 公募制助成事業

期 日	内 容
4月19日～5月18日	申請受付期間
6月 5日～6月10日	第一次審査会（書類審査）18団体
7月 8日	第二次審査会（プレゼン審査）5団体 開催場所：フォルテ

採択団体	内 容
団体 4	市内や町内会の支え合いや地域共生社会づくりにつながる活動を支援することを目的に公募申請のあった団体に対し助成金を交付した。 採択団体：nono1 みんなの食堂、にじいろエイド、野々市市民カウンセラーの会「ほわっと」、凸凹キッズ

2. 歳末たすけあい事業

(1) 慰問

期 日	対象者数	内 容
12月14日 ～28日	938人	市内ひとり暮らし登録者および避難行動要支援者名簿登録者、ののいち自立生活サポートセンター利用者、ひとり親家庭等へ民生委員児童委員の協力を得てご芳志を届けた。

(2) 福祉施設助成

期 日	事業所数	内 容
12月20日	11事業所	市内障害福祉サービス事業所が年末年始時期に行う活動に対し助成を行い、地域交流等に活用した。

3. 基金・寄付

(1) 社会福祉事業基金

件 数	寄 付 金 額 等	基 金 総 額
0件	0円	127,360,126円

(2) 法人運営事業への寄付

件 数	寄 付 金 額 等
11件	329,248円

9 地域福祉活動計画の推進

1. 評価委員会

期 日	場 所	内 容
7月10日	野々市市役所	計画の体系等の推進状況及び成果指標の説明を行った。

10 地域力強化推進事業

1. 地区ネットワーク会議開催について

開催地区	期 日	場 所	内 容
本町地区	8月 2日	カミーノ	取り組み内容について話し合い
	9月30日～10月15日		町内会へ地域サロン等の住民交流に関するアンケート調査
	12月 4日		取り組み内容について話し合い
	3月 8日		本町地区ネットワーク交流会
富奥地区	8月20日	富奥公民館	取組みの内容について話し合い
	2月 3日	老人福祉センター椿庄	スマホ教室①
	2月19日	富奥公民館	取組みの内容について話し合い
	3月 3日	栗田公民館	スマホ教室②
郷地区	8月20日	郷公民館	モデル運用・アンケート調査について
	11月21日		柳町モデル・アンケート結果報告等
	1月19日		連合町内会総会 事業説明
押野地区	8月 7日	押野公民館	今後の活動方針決定
	11月27日		アンケート実施等について

11 在宅介護事業

1. 訪問介護事業（ヘルパー派遣事業）

実利用者数	回 数	内 容
人 891	回 8,840	ホームヘルパーが家庭を訪問して身体介護や生活援助サービスを提供し、自立支援を図った。

2. 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

実利用者数	内 容
人 2,048	介護保険の理念に基づき、可能な限り自立した生活を送れるように利用者及び家族とともに話し合い、必要とする居宅サービス計画を作成し、日常生活の支援を図った。

3. 常勤・登録ヘルパー活動状況

登録人数	実活動人数	年間活動時間	一ヶ月平均時間
人 20 (常勤 4) (登録 16)	人 延べ 168	時間 7,072	時間 589

4. 障害者福祉サービス事業

実利用者数	回数	内 容
人 137	件 1,489	障害者及び障害児が在宅において日常生活を営むことができるよう、ガイドヘルパーやホームヘルパーの派遣を行った。

5. 産後安心ヘルパー派遣事業（受託事業）

内 容	延べ利用者数
産婦の体調不良等により育児又は家事が困難な家庭にヘルパーを派遣し、産婦の子育て支援を図った。	人 4

6. 障害者相談支援事業

相談延件数	計画相談 契約者数	内 容
件 107	人 60	障害児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談等対応やサービス等利用計画等の作成を行った。

12 福祉施設の管理事業

1. 福祉総務課分室（社会福祉協議会事務局）

会議室の利用状況

日 数	延べ利用件数	内 容
日 243		社会福祉協議会の事務所として利用した。

2. 老人福祉センター椿荘

※令和6年1月12日～7月15日 臨時休館とし、令和6年能登半島地震2次避難所として運営

(1) 施設利用状況

開館日数	延べ利用者数	一日平均利用者数
日 207	人 16,631	人 80.3
開湯日数	開湯延べ利用者数	開湯一日平均利用者数
日 139	人 15,212	人 109.4

(2) 事業実施状況

(趣味)

教室開設数	延べ回数	延べ受講者数	内 容
教室 8	件 177	人 866	手芸、詩吟、書道、茶道、大正琴、折紙、絵手紙、ボイストレーニング

(健康)

教室開設数	延べ回数	延べ受講者数	内 容
教室 1	件 31	人 170	体操教室 (若葉会)

(3) 施設慰問（ボランティア）状況

団体数（延べ数）	人 数	内 容
団体 9	人 102	清掃活動、交流活動

(4) バス運行状況（延べ年間利用者数）

運行日数	押野、本町 コース	栗田、新庄 コース	郷、御経塚 コース	合 計 (延べ人数)	一日平均利用 者数
日 137	人 661	人 448	人 985	人 2,094	人 15.3

3. いきがいセンター御経塚

(1) 施設管理状況

開館日数	登録者数	延べ利用者数	1日平均利用者数	内 容
日 241	人 29	人 2,019	人 8.2	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、各種サービスを提供することで自立の助長を図った。

(2) 地区別延べ利用者数

本 町	富 奥	郷	押 野	合 計
人 316	人 600	人 683	人 420	人 2,019

(3) ボランティア受け入れ状況（年間延べ件数）

団体数（延べ回数）	個人（延べ回数）
3	1

1 3 被災者見守り・相談支援等事業

1. 石川県地域支え合いセンター野々市

令和6年能登半島地震において石川県より委託を受け、名称を「石川県地域支え合いセンター野々市」とし、みなし仮設住宅等に入居された避難者が安心して日常を営むことができるよう、生活支援相談員が訪問し、見守り支援や生活上の相談を行ったうえで、必要に応じて関係機関につなぐ等の支援を行っている。8月から「栗田5丁目403」に拠点を構え、訪問拠点及びサロン実施に活用している。

(1) 訪問世帯件数（令和7年3月31日時点）

みなし仮設住宅 (退居済み含む)	公営住宅 (退居済み含む)	合計 (退居済み含む)	訪問件数（延べ）
世帯 380	世帯 16	世帯 396	件 1,082

(2) 会議等の開催状況

会議名	開催回数	内容
相談員MTG	8回 (うち、3回は職員のみ)	生活支援相談員の訪問活動に係る情報を共有した。

(3) 被災者交流会（被災者サロン）の開催状況

名称	開催回数	内容
のといろカフェ	3回	市内避難者を対象に避難者同士の交流機会創出、情報提供等を実施した。
テーマ型サロン	2回	毎回テーマを決めて実施し、避難者同士の交流機会を創出した。 R 6) 絵はがきワークショップ、ナンプレ
通常サロン	計85回	毎週月・水・金の10時～12時、13時30分～15時30分で実施。 サロンの運営は支え合いセンターボランティアが協力した。

(4) その他の事業実施状況

名称	開催回数	内容
能登ふるさとバス	1回	野々市市から珠洲市へバスを運行し、珠洲市支え愛センターとの交流及び市内巡回を実施した。